

記入例（形式1）-②：本人出頭の際の申請（期間の証明）

形式 1

## 在留証明願

令和 XX 年 5 月 1 日

在ヒューストン日本国総領事 殿

申請者氏名 証明書を 使う人	<b>証明 花子</b>	生年	明・大	60年 3 月 22 日
		月日	昭・平・令	
代理人氏名 (※1)		申請者との関係 (※1)		
申請者の 本籍地 (※2)	<b>東京</b>	都・道 府・県	<b>千代田区霞が関2丁目2番地1</b> (市区郡以下を記入してください。※2)	
提出理由	<b>不動産登記手続</b>	提出先	<b>東京法務局</b>	

私(申請者)が現在、次の住所に在住していることを証明してください。

現 住 所	日本語:	<b>アメリカ合衆国テキサス州ヒューストン市ファンニン通り909番地A パート 3000号</b>
	外国語:	<b>909 Fannin St Apt 3000, Houston, TX 77010 USA</b>
この場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		(令和・平成・昭和) XX 年 4 月

(※1) 本人申請の場合は記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続又は提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

## 在留証明

証第一 XXXX 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

令和 元年 5 月 1 日

在ヒューストン日本国総領事館

総領事 外務 太郎

(手数料: 米貨 XXドル )

公

印